

生涯学習センター

センター長 阿部 俊昭

委員長：阿部 俊昭

(センター長・脳神経外科学教授)

委員：東條 克能 (内科学教授)

鳥海弥寿雄 (外科学講師)

大野 昭彦 (同窓会)

高木 敬三 (専務理事)

1. 年間の利用者

1) 平成 23 年 3 月末現在登録者は 232 名、(うち港区医師会 31 名、中央区医師会 6 名)である。この 1 年の新規登録者数は 2 名、物故者は 7 名である。年間の利用者は 140 名、延利用者数 6,701 名である。

2) テレフォンサービスの利用は、88 件、月平均は 7.4 件である。なお、発足以来の延べ利用件数は 4,464 件となっている。

2. 活動

1) 平成 22 年 8 月 7 日 (土) 午後 4 時より大学 1 号館講堂において第 31 回夏季セミナーが開催された。

メインテーマは「Common Diseases の新しい治療戦略」であり、法橋建先生 (総合診療部) の司会で行われ、参加者は 76 名であった。なお、各テーマと演者は次のとおりである。

- ① インクレチン関連薬剤による新しい糖尿病治療の幕開け
東條克能 (糖尿病・代謝・内分泌内科)
- ② 慢性腎臓病 (CKD) における降圧療法の新展開～RAA 系阻害薬、そして直接的レニン阻害薬～
宇都宮保典 (腎臓・高血圧内科)
- ③ 女性の尿失禁・性器脱治療の新戦略
鈴木康之 (泌尿器科)
- ④ 関節リウマチの新しい治療戦略
黒坂大太郎 (リウマチ・膠原病内科)
- ⑤ 最近のうつ病とその対策
忽滑谷和孝 (精神神経科)

2) 月例セミナーは平成 22 年 4・5・6・7・9・11 月、平成 23 年 2・3 月の計 8 回、各月の第 2 土曜日の午後 4 時から次のように開催した。

(4 月)

新型インフルエンザパンデミックの 1 年を振り返る

小野寺昭一 (感染制御部)

(5 月)

甲状腺機能亢進症の薬物治療

東條克能 (糖尿病・代謝・内分泌内科)

(6 月)

変形性膝関節症

－保存・手術療法のトピックス－

丸毛啓史 (整形外科)

(7 月)

スポーツにおける脳震盪

(なぜ防がなくてはいけないか)

谷 論 (脳神経外科)

(9 月)

関節リウマチの早期診断と最新の治療

山田昭夫 (リウマチ・膠原病内科)

(11 月)

アンチエイジング医療と形成外科

内田 満 (形成外科)

(平成 23 年 2 月)

超音波診断の最前線

宮本幸夫 (画像診断部)

(3 月)

胃食道逆流症 (GERD)

柏木秀幸 (外科)

※東北地方太平洋沖地震発生のため、中止とさせていただきます

3) 「生涯学習センターニュース」を発行し、利用会員各位・月例セミナー出席者 (非会員) に発送している。平成 23 年 3 月で 244 号となっている。

4) 「生涯学習シリーズ」を作成し、慈大新聞 4 月・10 月号に挟み込み発行した。